

第2回発達支援研究会

【期日】令和7年8月6日(水)

【会場】(午前:全体会)可美公園総合センター

(午後:分科会)可美公園総合センター・可美小学校

【研修内容】

① 実践発表

◎「知的学級における漢字学習の実践」

細江中学校教諭 権田先生

◎「自分の得意や苦手と向き合う自立活動」

北浜北小学校教諭 廣岡先生

・漢字学習について、子供たちに興味をもってもらえる教材提示や、個々のレベルに合わせて得意な部分を伸ばしていく支援についてとても勉強になりました。
・子供たちに自分の長所や短所を理解させ、そのことにどう向き合わせるかという実践は、今後の参考になりました。
(参加者より)

② 講演

◎「個性が強みになる職場 ～京丸園のユニバーサル農園に学ぶ就労支援～」

京丸園 代表取締役 鈴木厚志様

・発達支援学級にいる生徒たちは感情のコントロールや集団での活動がうまくできず、周りの生徒や教員が手を焼くこともあります。人の役に立ちたいという思いは確かにあると思います。働くということは、自分が誰かの役に立っていると実感できる重大な方法だと感じました。障害のある子供たちが将来に希望がもてるように、働きやすい環境がある社会を目指していきたいと感じました。
(参加者より)

③ 分科会

令和11年度の東海北陸大会(浜松大会)に向け、3つのテーマに分かれて分科会を行いました。

◎分科会 A 「学習」

・自分が持っていない考えを知ることができて、有意義な時間だった。自分の意志をベースに色んなことに挑戦して、子供たちが楽しいと思えるような学校生活を作り出していきたい。
(参加者より)

◎分科会 B 「進路・作業」

・進路指導については、正しい情報を関わる教員がしっかりとっていないといけないと再確認しました。
・資料がとても充実していて、今後の保護者との面談等に役立てていきます。
(参加者より)

◎分科会 C 「支援体制」

・縦のつながり、横のつながりの大切さ、また繋がりかたの具体例を挙げていただき参考になりました。
・たくさんの先生と顔見知りになれたことが、支援体制をつなぐ第一歩だと思いました。
(参加者より)

